

令和7年度（令和6年度実施）
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

小学校 特別支援学校 小学部

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 小学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。

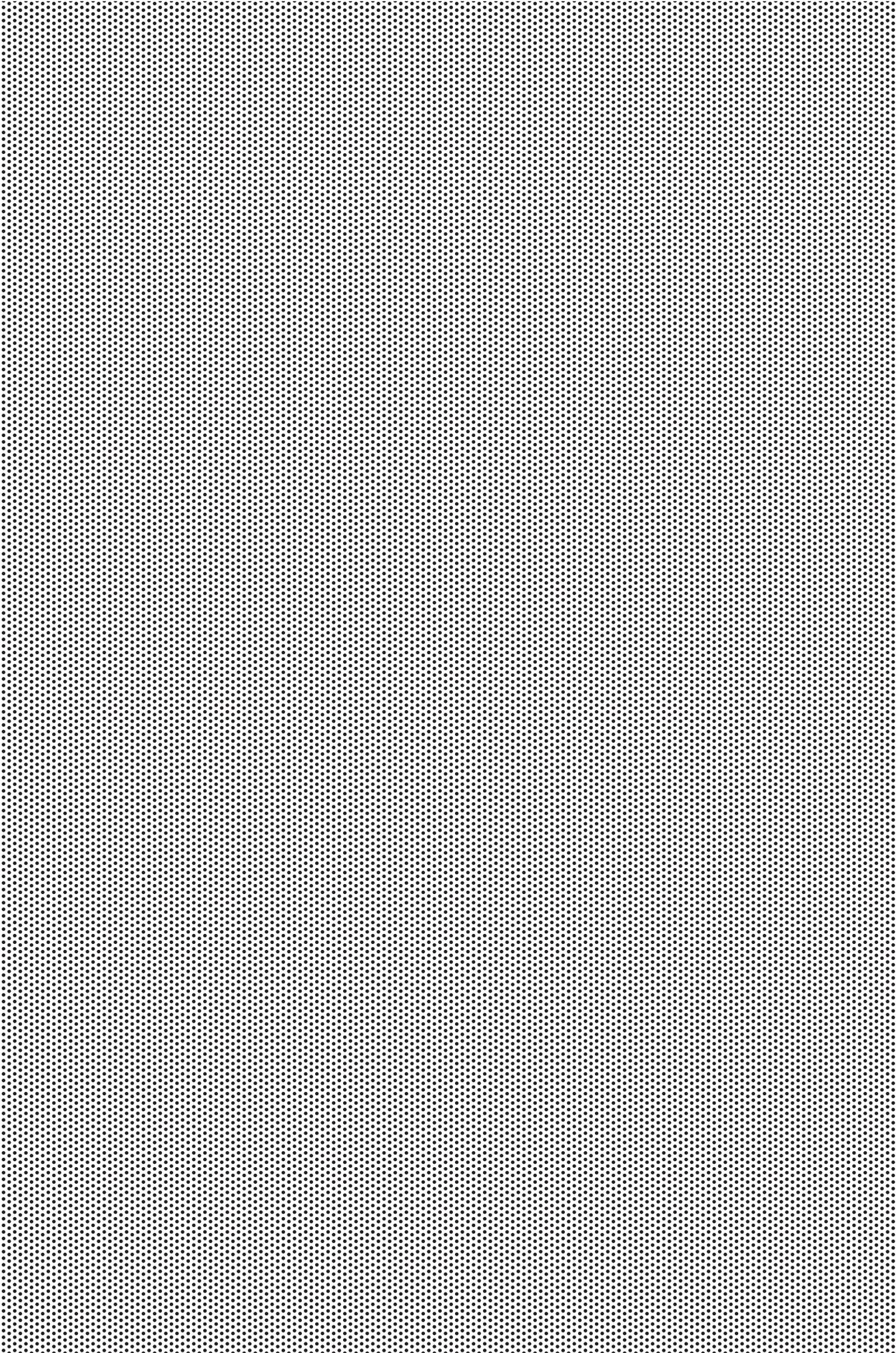
- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対してbと解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の b をマークしてください。

（例）

ア	a	●	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 6 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



【共通問題】

第1問

国
語

(左巻 健男『図解 身近にあふれる「物理」が3時間でわかる本』による。一部省略等がある。)

(1) 傍線部「手間」の意味として、適切なものはどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

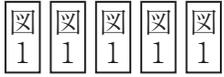
ア

- a 努力や工夫
- b 自分の都合
- c 作業する人数
- d ある仕事をするのにかかる時間や労力
- e ある事柄を進めるときの心配な出来事や不安

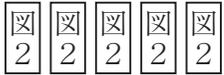
(2) この文章の種類とその説明の組み合わせとして適切なものはどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

- a 意見文―日々の出来事や体験について、継続的に書く文章。
- b 感想文―特定の相手に向けて書き手の状況や思いを届けたり、情報を伝達したりするために書いた文章。
- c 説明文―ある事柄について、筋道を立てて正確に伝達することを目的とする文章。
- d 記録文―生活の中の出来事で思ったことや本を読んで感じたことなどをまとめた文章。
- e 手紙―観察したことや調べたことなどを書き留めた文章。

e d c b a



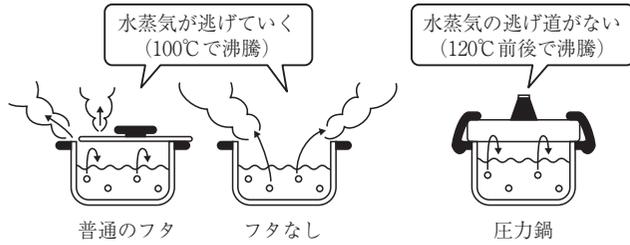
イ エ ウ ア イ



ウ ウ イ ウ エ



ア ア ア エ ア



イ

圧力鍋に適した料理

種類	例
ブロック肉を使うもの	豚の角煮、チャーシュー
根菜類を使うもの	豚汁、ブリ大根
豆を使うもの	五目豆、赤飯
スープの多いもの	シチュー、カレー
その他	ふかし芋、骨まで食べたい魚など

圧力鍋に適さない料理

種類	例
歯ごたえを楽しむもの	きんぴらごぼう、葉物野菜
炒めご飯	チャーハン、バターライス
麺類	パスタ
揚げ物	天ぷら

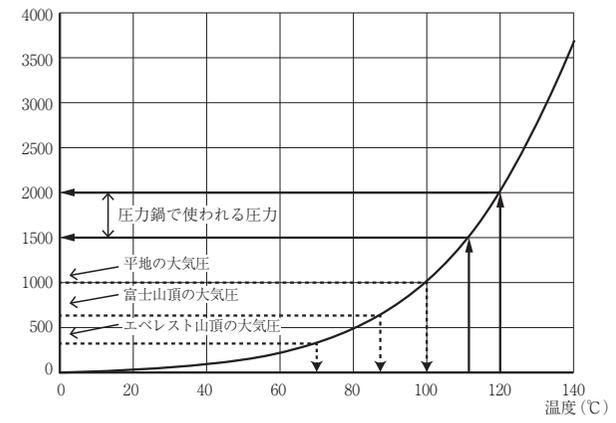
ア

エ

圧力と調理温度の関係		
	絶対圧力 (*)	調理温度 (℃)
普通の鍋	1	100
ガスなどで加熱する圧力鍋	1.30	107.4

* 大気圧 1 を加えた気圧

飽和水蒸気圧 (hPa)



ウ

(3) 文章中に挿入されている    には次のア〜エのいずれかの図が入る。その組み合わせとして適切なものはどれか。あとの a〜e から一つ選びなさい。

 ウ

2 次の五つの漢字を組み合わせて二字熟語を完成させたとき、使用しない漢字はどれか。
次のa～eから一つ選びなさい。

エ

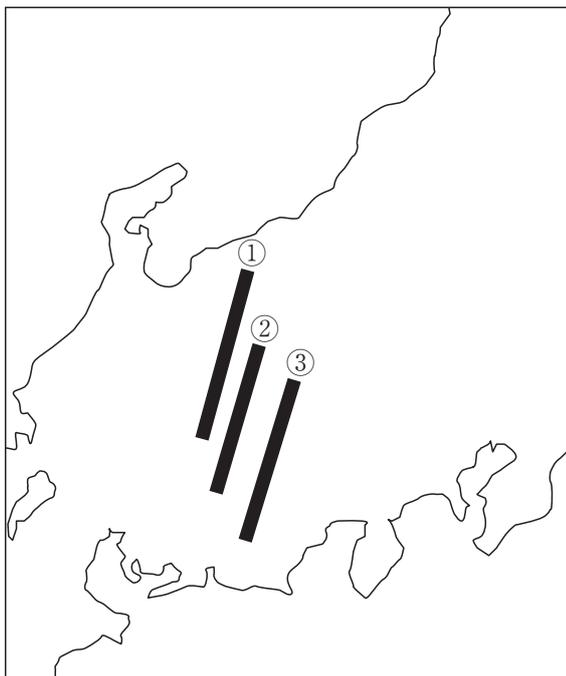
a 満
b 考
c 聖
d 足
e 熟

社 会

3 次の日本の国土に関わる説明文のうち正しいものはどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

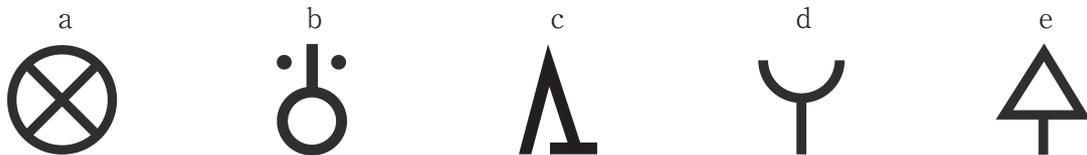
- a 日本の国土面積及び日本の権限や権利がおよぶ領海，排他的経済水域と延長大陸棚の合計面積は約37.8万平方キロメートルである。
- b 日本列島の周辺では，太平洋プレート，ユーラシアプレート，北米プレート，フィリピン海プレートの4つのプレートが接している。
- c 日本の都道府県で，一番多くの都道府県と接しているのは，埼玉県である。
- d 日本の国土の西の端にある島は，南鳥島である。
- e 日本の都道府県で一番長い海岸線をもつのは，長崎県である。

4 次の地図中①～③が示す山脈の名称の組み合わせとして，正しいものはどれか。下の a～e から一つ選びなさい。



- | | | | |
|---|--------|--------|--------|
| a | ① 飛驒山脈 | ② 赤石山脈 | ③ 木曾山脈 |
| b | ① 木曾山脈 | ② 飛驒山脈 | ③ 赤石山脈 |
| c | ① 飛驒山脈 | ② 木曾山脈 | ③ 赤石山脈 |
| d | ① 赤石山脈 | ② 越後山脈 | ③ 飛驒山脈 |
| e | ① 越後山脈 | ② 赤石山脈 | ③ 飛驒山脈 |

5 次の a～e の地図記号のうち、建物や施設に含まれないもの一つを選びなさい。



6 次の鎌倉時代に広まった仏教とその開祖の組み合わせとして、正しいものはどれか。

次の a～e から一つを選びなさい。

	(仏教)		(開祖)
a	浄土真宗	—	法然
b	曹洞宗	—	栄西
c	時宗	—	一遍
d	臨済宗	—	道元
e	浄土宗	—	親鸞

7 次の a～e の国際連合が採択した人権保障に関する条約の中で、最も新しいものはどれか。次の a～e から一つを選びなさい。

- a 女子差別撤廃条約
- b 障害者権利条約
- c 人種差別撤廃条約
- d 難民の地位に関する条約
- e 子どもの権利条約

第2問

算 数

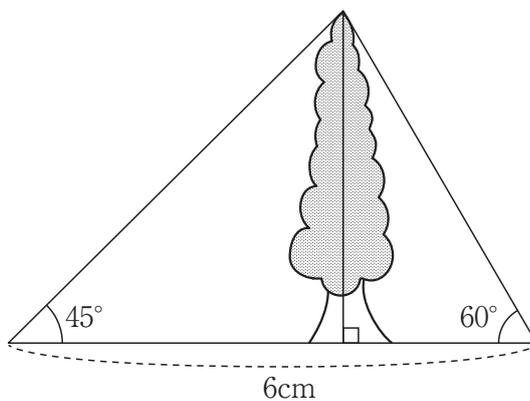
8 $(-2\sqrt{2})^3 \div \sqrt{2} \times 2 - (-4^2) \div 4 \div 2$ を計算したとき、正しいものはどれか。次の a ~ e から一つ選びなさい。

a -40 b -34 c -30 d -24 e -6

9 AさんとBさんの持っている色紙の枚数の比は5 : 3である。AさんがBさんに18枚あげたところ持っている色紙の枚数の比は4 : 3となった。最初、Aさんが持っていた色紙の枚数として正しいものはどれか。次の a ~ e から一つ選びなさい。

a 90枚 b 120枚 c 150枚 d 180枚 e 210枚

10 次の図は、公園にある木の高さを調べるために作成した縮尺200分の1の縮図である。この木の実際の高さとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。



a $3 + \sqrt{3}$ m b $3(3 + \sqrt{3})$ m c $3(3 - \sqrt{3})$ m
 d $6(3 - \sqrt{3})$ m e $6(3 + \sqrt{3})$ m

- 11 次の図1のように、長方形ABCDの用紙を点線EFを折り目として折り返したところ図2のようになった。辺ADと交わる点をそれぞれG, Hとしたとき、四角形GEFHの面積として、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。

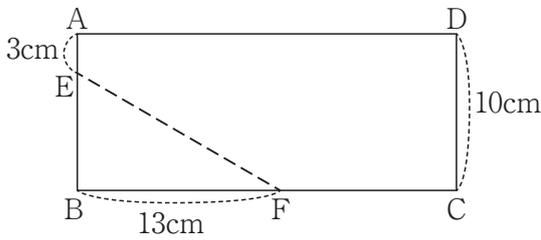


図1

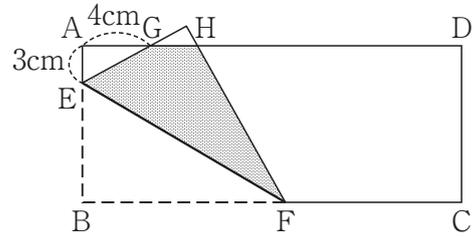


図2

- a 42.5cm^2 b 43.1cm^2 c 44cm^2 d 44.5cm^2 e 47cm^2

- 12 次の表は、Aチーム10人の的当てゲームの結果をまとめたものである。この結果の平均値、中央値、最頻値の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。

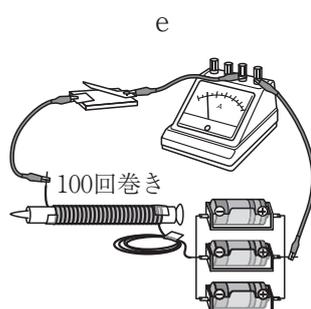
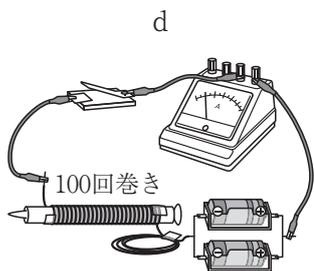
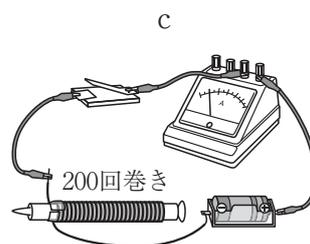
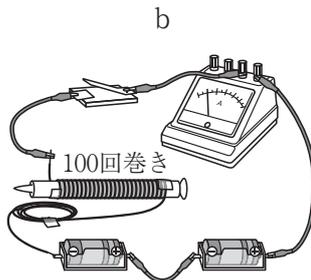
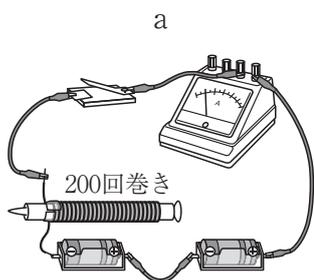
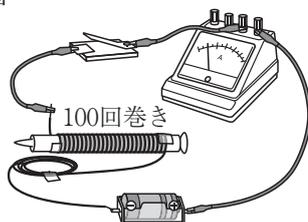
Aチーム	得点
1人目	4
2人目	8
3人目	10
4人目	4
5人目	1
6人目	6
7人目	7
8人目	4
9人目	9
10人目	7

	平均値	中央値	最頻値
a	5.5	6	4
b	6	6.5	3
c	6	6	4
d	6	6.5	4
e	5.5	7	3

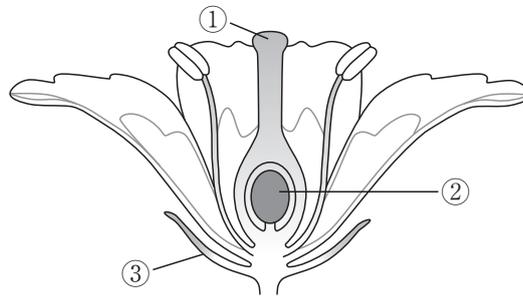
理 科

- 13 次の図のように、100回巻きの電磁石を使って回路をつくり、電磁石の性質を調べた結果、6個のゼムクリップが付いた。さらに多くのゼムクリップを付けるには、「回路を流れる電流を大きくすると、電磁石は強くなるのではないか」と予想した。その予想を確かめるため、図の回路と比べるものとして、適切なものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。ただし、電磁石をつくるエナメル線の太さと長さは全て同じものとする。

図

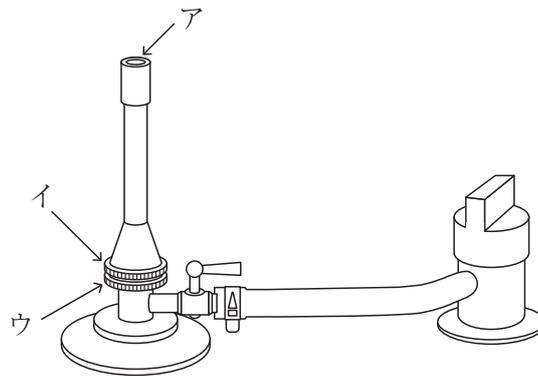


- 14 次の図は、一般的な被子植物の花のつくりを模式的に表している。①～③の名称の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a～e から一つ選びなさい。 キ



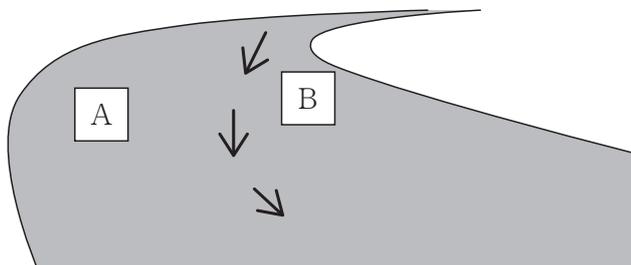
- a ① 柱頭 ② 胚珠 ③ がく
 b ① 胚珠 ② 柱頭 ③ がく
 c ① がく ② 胚珠 ③ 柱頭
 d ① 柱頭 ② がく ③ 胚珠
 e ① 胚珠 ② がく ③ 柱頭

- 15 次の図に示したガスバーナーの火のつけ方と炎の調整の仕方として、正しいものはどれか。下の a～e から一つ選びなさい。ただし、図はイとウが閉まっていることを確認したうえで、ガスの元栓とコックを開いているものとする。 ク



- a ウを開いてから、アにマッチの炎を近づけて点火し、イを開きながら炎を調整する。
 b イを開いてから、アにマッチの炎を近づけて点火し、ウを開きながら炎を調整する。
 c イとウを開いてから、アにマッチの炎を近づけて点火し、ウを開きながら炎を調整する。
 d アにマッチの炎を近づけてから、ウを開いて点火し、イを開きながら炎を調整する。
 e アにマッチの炎を近づけてから、イを開いて点火し、ウを開きながら炎を調整する。

- 16 次の図のように、湾曲して矢印の向きに流れている川がある。B地点の様子について、組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。

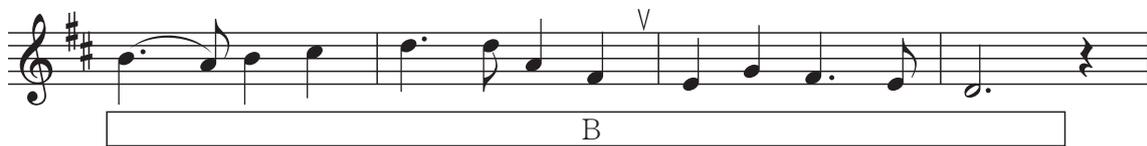
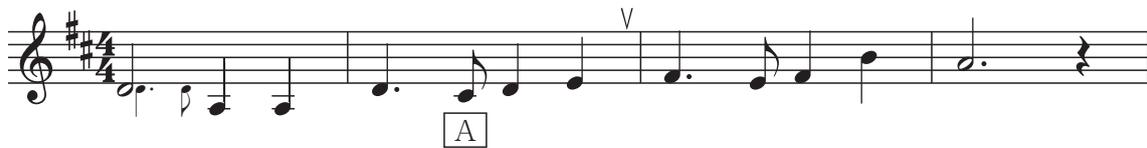


- ① 岸は崖になりやすい。
- ② 川底が深くなりやすい。
- ③ 水の流れるが速い。
- ④ 水の流れるが遅い。
- ⑤ 角ばった大きい石が見られる。
- ⑥ 川底が浅くなりやすい。

- a ①と③
- b ②と④
- c ③と⑤
- d ④と⑥
- e ②と⑤

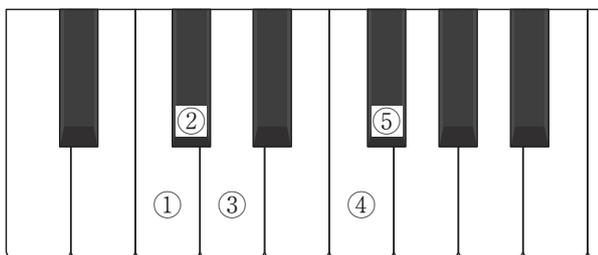
音 楽

17 次の楽譜は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 第2章 各教科 第6節 音楽に示されている共通教材のうちの一曲である。この曲と、同じ学年で取り扱う共通教材はどれか。下のa～eから一つ選びなさい。



- a 「まきばの朝」
- b 「冬げしき」
- c 「おぼろ月夜」
- d 「ふじ山」
- e 「うみ」

- 18 17の楽譜のAの音を鍵盤楽器で演奏する場合、押さえる鍵盤の番号として、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ⑤

- 19 17の楽譜のBに当てはまる1番の歌詞はどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

- a わがなつかしき 住みかなれ
- b さわぐいそべの 松原に
- c 不断ふだんの花の かおりあり
- d 波を子もりの 歌と聞き
- e いみじきがく楽と われは聞く

図画工作

20 次のア～ウの文は、表現技法の説明である。①～③の技法の名前との組み合わせとして、適切なものはどれか。下の a～e から一つ選びなさい。

エ

ア 様々な印刷物を切り抜き、画面に貼り込んで不思議な世界を表す。布や落葉など実際のものを貼ってもよい。

イ 凹凸のあるものの上に薄めの紙を置き、鉛筆やコンテなどでこすると、凹凸を模様として写し取ることができる。

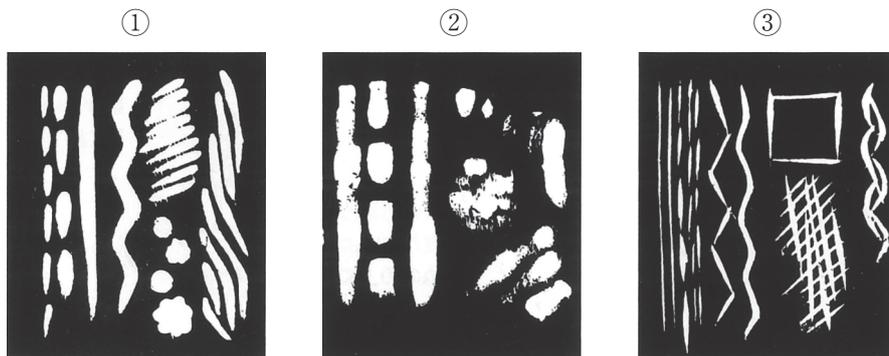
ウ 厚めの台紙に複数の原色をクレヨンで下塗りして、上からアクリルガッシュ絵の具で塗りつぶす。先のとがった道具で削って描画すると、予期せぬ色彩の効果が表れる。

① フロッタージュ ② スクラッチ ③ コラージュ

- | | | |
|-------|-----|-----|
| a ①-イ | ②-ア | ③-ウ |
| b ①-ウ | ②-イ | ③-ア |
| c ①-イ | ②-ウ | ③-ア |
| d ①-ア | ②-イ | ③-ウ |
| e ①-ア | ②-ウ | ③-イ |

21 次の①～③の図は、彫刻刀による彫り跡を単色で刷ったものである。図と使用した彫刻刀の組み合わせとして、適切なものはどれか。下の a～e から一つ選びなさい。

オ



- | | | |
|--------|-------|--------|
| a ① 丸刀 | ② 平刀 | ③ 切り出し |
| b ① 平刀 | ② 丸刀 | ③ 三角刀 |
| c ① 平刀 | ② 三角刀 | ③ 切り出し |
| d ① 平刀 | ② 丸刀 | ③ 切り出し |
| e ① 丸刀 | ② 平刀 | ③ 三角刀 |

22 次の作品の作品名と作者の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a～e から一つ選びなさい。

カ

(作品名)	(作者)
a 私と村	クロード・モネ
b 星月夜	クロード・モネ
c 記憶の固執	サルバドール・ダリ
d 星月夜	フィンセント・ファン・ゴッホ
e 記憶の固執	フィンセント・ファン・ゴッホ

家 庭

23 調理用具の取扱い方について、適切なものはどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

ア

- a 包丁を持つときは、みねをしっかりとにぎる。
- b 包丁を持つ姿勢は、包丁を持たない手の側の足を一步引いて立つ。
- c 計量カップではかる場合には、カップを持って正面で目盛りを読む。
- d 液体を、底が丸い計量スプーンで1/2杯はかる場合には、スプーンの深さの1/2まで入れる。
- e 粉類を、計量スプーンで1杯はかる場合には、山盛りにすくってからすり切る。

24 次の表は、製品に付いている品質や安全性を示すマークとその説明である。マークとその説明の組み合わせとして、適切なものはどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

イ

	マーク	説明
a		製品安全協会が、安全と認定した製品に付けられる。
b		日本農林規格に適合する製品に付けられる。対象品目は食品や林産物など。
c		日本産業規格に適合する製品に付けられる。
d		古紙を40%以上使った製品に付けられる（トイレットペーパーやちり紙は100%、新聞紙やコピー用紙は50%以上）。
e		環境への負荷が少ない製品に付けられる。

26 次の文で、(①) ~ (⑤) に当てはまる語の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。

- a ① embrace ② underway ③ leave ④ efficient
⑤ convey
- b ① leave ② efficient ③ convey ④ underway
⑤ embrace
- c ① leave ② underway ③ convey ④ efficient
⑤ embrace
- d ① convey ② embrace ③ underway ④ efficient
⑤ leave
- e ① convey ② efficient ③ embrace ④ underway
⑤ leave

【選択問題 小学校】

第5問

学習指導要領

27 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 国語編 第2章 国語科の目標及び内容 第2節 国語科の内容 3〔思考力、判断力、表現力等〕の内容 B 書くこと の領域における指導事項である。学習過程「考えの形成、記述」、「推敲」の指導事項のうち、第3学年及び第4学年に該当するものとして、正しいものはどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

- a 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- b 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。
- c 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。
- d 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。
- e 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。

- 28 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 第2章 各教科 第2節 社会 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年〕 1 目標 である。(①) ~ (④) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 我が国の (①) の地理的環境の特色や産業の現状、社会の (②) と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、(③) などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を (④) に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、(④) な思考や理解を通して、我が国の (①) に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

- | | | | | |
|---|--------|-------|------|-----------|
| a | ① 都道府県 | ② 国際化 | ③ 年表 | ④ 多面的 |
| b | ① 国土 | ② 情報化 | ③ 統計 | ④ 多角的 |
| c | ① 国土 | ② 国際化 | ③ 年表 | ④ 多面的・多角的 |
| d | ① 都道府県 | ② 情報化 | ③ 写真 | ④ 多角的 |
| e | ① 国土 | ② 国際化 | ③ 統計 | ④ 多面的 |

- 29 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 第2章 各教科 第3節 算数 第2 各学年の目標及び内容〔第4学年〕 1 目標 の一部である。(①)～(④)に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。 ウ

- (1) 小数及び分数の意味と表し方、四則の関係、平面図形と立体図形、面積、角の大きさ、(①)などについて理解するとともに、整数、小数及び分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や(②)を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
- (2) 数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素及びそれらの(③)に着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を(④)に捉え考察したりする力などを養う。

- | | | | | |
|---|----------|---------|----------|-------|
| a | ① 折れ線グラフ | ② 角の大きさ | ③ 図形間の関係 | ④ 適切 |
| b | ① 折れ線グラフ | ② 角の大きさ | ③ 位置関係 | ④ 多面的 |
| c | ① 棒グラフ | ② 体積 | ③ 図形間の関係 | ④ 適切 |
| d | ① 折れ線グラフ | ② 体積 | ③ 図形間の関係 | ④ 多面的 |
| e | ① 棒グラフ | ② 角の大きさ | ③ 位置関係 | ④ 簡潔 |

- 30 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 理科編 第2章 理科の目標及び内容 第1節 教科の目標 (1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにすること の一部である。(①) ～ (④) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a～e から一つ選びなさい。

児童は、自ら自然の事物・現象に働きかけ、問題を解決していくことにより、自然の事物・現象の性質や (①) などを把握する。その際、児童は、問題解決の過程を通して、あらかじめもっている自然の事物・現象についてのイメージや素朴な概念などを、既習の内容や (②)、観察、実験などの結果から導きだした結論と意味付けたり、関係付けたりして、より (③) の高いものに更新していく。このことは、自然の事物・現象について、より深く理解することにつながっていくのである。このような理解は、その段階での児童の発達や経験に依存したものであるが、自然の事物・現象についての (④) な理解の一つと考えることができる。

- | | | | | |
|---|-------|--------|-------|-------|
| a | ① 法則性 | ② 生活体験 | ③ 信頼性 | ④ 科学的 |
| b | ① 規則性 | ② 生活経験 | ③ 信頼性 | ④ 理科的 |
| c | ① 規則性 | ② 生活経験 | ③ 妥当性 | ④ 科学的 |
| d | ① 法則性 | ② 日常経験 | ③ 妥当性 | ④ 科学的 |
| e | ① 法則性 | ② 生活経験 | ③ 信頼性 | ④ 理科的 |

- 31 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 第2章 各教科 第5節 生活 第1 目標 である。(①) ~ (④) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa~eから一つ選びなさい。 オ

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、(①) し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や(②) を身に付けるようにする。
- (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や(③) について考え、表現することができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に(④)、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

- | | | | | |
|---|------|------|----------|-----------|
| a | ① 学習 | ② 技能 | ③ 自分の生活 | ④ 直接触れ親しみ |
| b | ① 学習 | ② 知識 | ③ 他者との関係 | ④ 自ら働きかけ |
| c | ① 自立 | ② 技能 | ③ 自分の生活 | ④ 自ら働きかけ |
| d | ① 自立 | ② 知識 | ③ 他者との関係 | ④ 直接触れ親しみ |
| e | ① 自立 | ② 技能 | ③ 自分の生活 | ④ 直接触れ親しみ |

- 32 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 第2章 各教科 第6節 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い に関する記述の一部である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。 カ

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(8) 各学年の〔共通事項〕に示す「音楽を形づくっている要素」については、児童の (①) に応じて、次のア及びイから適切に選択したり関連付けたりして指導すること。

ア 音楽を特徴付けている要素

音色, リズム, 速度, 旋律, 強弱, (②), 和音の響き, 音階, 調, 拍, フレーズなど

イ 音楽の仕組み

反復, (③), 変化, 音楽の縦と横との関係など

- | | | | |
|---|----------------|----------|------------|
| a | ① 発達段階や評価規準 | ② 音の響き | ③ 呼びかけとこたえ |
| b | ① 発達段階や評価規準 | ② 和音の重なり | ③ 呼びかけとこたえ |
| c | ① 発達の違いや指導内容 | ② 音の響き | ③ 問いと答え |
| d | ① 発達の段階や指導のねらい | ② 音の重なり | ③ 問いと答え |
| e | ① 発達の段階や指導のねらい | ② 音の重なり | ③ 呼びかけとこたえ |

- 33 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 第2章 各教科 第7節 図画
 工作 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 2 内容 B 鑑賞
 と〔共通事項〕である。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして、
 正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。 キ

B 鑑賞

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア (①)などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸
 外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美し
 さ、表現の意図や特徴、(②)などについて、感じ取ったり考えたり
 し、自分の見方や感じ方を深めること。

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることが
 できるよう指導する。

ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの(③)を理解すること。

イ 形や色などの(③)を基に、自分のイメージをもつこと。

- | | | | |
|---|------------|------------|----------|
| a | ① 身の回りの作品 | ② 表し方の変化 | ③ 感じ |
| b | ① 親しみのある作品 | ② 表し方の変化 | ③ 造形的な特徴 |
| c | ① 身近にある作品 | ② いろいろな表し方 | ③ 造形的な特徴 |
| d | ① 親しみのある作品 | ② いろいろな表し方 | ③ 感じ |
| e | ① 身近にある作品 | ② 表し方 | ③ 感じ |

- 34 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 家庭編 第2章 家庭科の目標及び内容 第1節 家庭科の目標 である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。 ク

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・(①) な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) (②) や家庭、衣食住、(③) などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) 家庭生活を大切にする心情を育み、(②) や地域の人々との関わりを考え、(②) の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

- | | | | |
|---|-------|--------|-----------|
| a | ① 体験的 | ② 家族 | ③ 消費や環境 |
| b | ① 伝統的 | ② 家族 | ③ 消費や環境 |
| c | ① 体験的 | ② 地域社会 | ③ 消費生活・環境 |
| d | ① 伝統的 | ② 地域社会 | ③ 消費生活・環境 |
| e | ① 具体的 | ② 家族 | ③ 消費生活・環境 |

- 35 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 体育編 第2章 体育科の目標及び内容 第2節 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕2 内容 F 表現運動 (1)知識及び技能 である。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。 ケ

(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、表したい (①) を表現したり踊りで交流したりすること。

ア 表現では、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい (①) をひと流れの動きで (②) に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすること。

イ フォークダンスでは、日本の民踊^{よう}や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単な (③) や動きで踊ること。

- | | | | |
|---|--------|-------|--------|
| a | ① 感じ | ② 即興的 | ③ ステップ |
| b | ① イメージ | ② 反復的 | ③ 足運び |
| c | ① 感じ | ② 反復的 | ③ 足運び |
| d | ① テーマ | ② 即興的 | ③ 足運び |
| e | ① イメージ | ② 即興的 | ③ ステップ |

- 36 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 第2章 各教科 第10節 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 英語 1 目標 (1) 聞くこと である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。

(1) 聞くこと

ア ゆっくりはっきりと話されれば、(①) や身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。

イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、(②) を聞き取ることができるようにする。

ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、(③) を捉えることができるようにする。

- | | | | |
|---|---------|----------|----------|
| a | ① 相手のこと | ② 必要な情報 | ③ 短い話の要旨 |
| b | ① 相手のこと | ② 具体的な情報 | ③ 短い話の概要 |
| c | ① 自分のこと | ② 具体的な情報 | ③ 話の要旨 |
| d | ① 自分のこと | ② 具体的な情報 | ③ 短い話の概要 |
| e | ① 自分のこと | ② 必要な情報 | ③ 話の概要 |

- 37 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 第3章 道徳科の内容 第2節 内容項目の指導の観点 に関する記述の一部である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa~eから一つ選びなさい。

サ

C 主として集団や社会との関わりに関すること

14 勤労, 公共の精神

(1) 内容項目の概要

生きていくには、自分の仕事に誇りと喜びを見いだし、(①)をもって仕事を行えるようにすることが大切である。働くことは、日々の糧を自ら得て自立するなど単に自分の生活の(②)を目的とすることだけでなく、働くこと自体が自分に課された(③)を果たすという意味においても重視する必要がある。

- | | | | |
|---|--------|--------|---------|
| a | ① やりがい | ② 維持向上 | ③ 役割 |
| b | ① やりがい | ② 成立 | ③ 社会的責任 |
| c | ① 生きがい | ② 維持向上 | ③ 社会的責任 |
| d | ① やりがい | ② 維持向上 | ③ 社会的責任 |
| e | ① 生きがい | ② 成立 | ③ 役割 |

【選択問題 特別支援学校】

第5問 次の1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、令和4年12月に文部科学省より示された「生徒指導提要」の一部である。

発達障害を含む障害者への差別の解消に関して、平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）が施行されました。この法律では、障害を理由とする「」の禁止と障害者への「合理的配慮の提供」が求められています。とは障害者の権利利益を侵害することです。合理的配慮の提供とは、から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合は、その実施に伴う負担が過重でないときは、障害者の権利利益を侵害することとならないよう、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮に努めなければならないということです。

- (1) 空欄アに入る語句を、次のa～dの中から一つ選びなさい。

- a 不当な差別的な取扱い b 活動の制限
c 各種機会の提供の拒否 d 選挙活動の制限

- (2) 空欄イに入る語句を、次のa～dの中から一つ選びなさい。

- a 学級担任 b 障害者
c 医師 d 関係者

2 次の文は、令和3年9月に文部科学省から通知された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の施行について（通知）」にある「留意事項」の一部である。

文中の ～ に当てはまる語句を下の1～9の中から一つずつ選びなさい。

(1) 定義（第2条関係）

① 「医療的ケア」の定義は、人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の であり、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校（以下「学校」という。）において、 の指示の下、医療的ケア看護職員や喀痰吸引等（社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）第2条第2項に規定する喀痰吸引等をいう。以下同じ。）を行うことができる介護福祉士、認定特定行為業務従事者（社会福祉士及び介護福祉士法附則第3条第1項に規定する認定特定行為業務従事者をいう。以下同じ。）が従前から行っている医療的ケアの範囲を変更するものではないこと。（第2条第1項関係）

② 「医療的ケア児」の定義は、日常生活及び社会生活を営むために に医療的ケアを受けることが不可欠である児童であり、18歳未満の者に加え、18歳以上の者であって、高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部に在籍する者も含まれること（以下「児童生徒等」という。）。（同条第2項関係）

- | | | | | |
|-------|--------|-------|--------|--------|
| 1 学校長 | 2 医療行為 | 3 定期的 | 4 医師 | 5 健康管理 |
| 6 恒常的 | 7 養護教諭 | 8 緊急的 | 9 看護行為 | |

- 3 次の文は、「特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月）」の一部である。

児童生徒一人一人の学習状況を に評価するため、 の目標に準拠した評価の観点による学習評価を行うことが重要である。一つの授業や単元、年間を通して、児童生徒がどのように学ぶことができたのかや、成長したのかを見定めるものが学習評価である。

(中略)

なお、教科別の指導を行う場合や各教科等を合わせて指導を行う場合においても、 の目標に準拠した評価の観点による学習評価を行うことが必要である。

- (1) 空欄カに入る語句を、次の a～d の中から一つ選びなさい。

a 長期的 b 短期的 c 効率的 d 多角的

- (2) 空欄キに入る語句を、次の a～d の中から一つ選びなさい。

a 自立活動 b 6区分27項目 c 各教科 d 各段階

- 4 次の文は、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月）」の一部である。

自立活動は、特別支援学校の教育課程において特別に設けられた である。この自立活動は、①授業時間を特設して行う自立活動の時間における指導を中心とし、各教科等の指導においても、自立活動の指導と密接な関連を図って行われなければならない。このように、自立活動は、障害のある幼児児童生徒の教育において、教育課程上重要な位置を占めていると言える。

- (1) 空欄クに入る語句を、次の a～d の中から一つ選びなさい。

a 指導形態 b 指導領域 c 教科 d 専門教科

- (2) 下線部①「授業時間」について、「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月）」では、児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に
 応じてどのように定めるとされているか、次の a～d の中から選びなさい。

a 年間10単位時間から280単位時間までを標準とする。
 b 年間35単位時間から280単位時間までを標準とする。
 c 年間7単位を超えない範囲で定めるものとする。
 d 適切に定めるものとする。

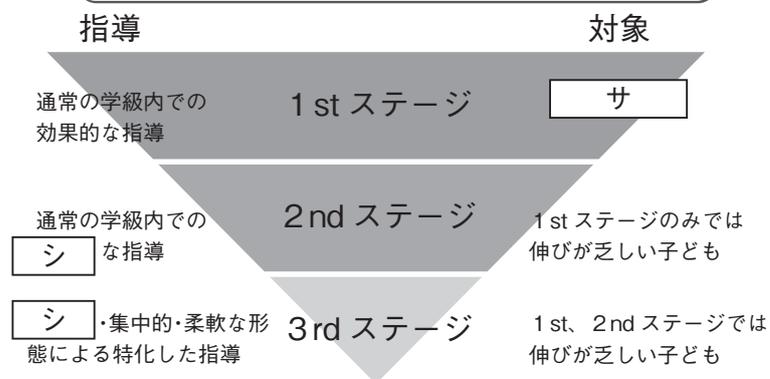
5 次の文は、高知県教育委員会で作成した『すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック [改訂版]』（令和3年3月）の一部を示したものである。

文中の ～ に当てはまる語句を、下の a～d の中からそれぞれ一つ選びなさい。

(2) 通常の学級における学習につまずきのある子どもへの支援の在り方

通常の学級において、学習につまずきのある子どもへの対応を考える上で、多層指導モデル（MIM）が参考になります。これは、異なる学力層の子どものニーズに対応した指導・支援を提供していこうとするモデルであり、特に子どもが学習に に、また、つまずきが重篤化する前に指導・支援を行うことを目指すものです。MIMでは、まず1stステージでは、通常の授業の中で質の高い指導を に実施します。2ndステージでは、1stステージのみでは伸びが十分でない子どもに対して、通常の授業に加え、その他の時間帯等も使いながら、 な指導を行っていきます。その子ども向けの教材、その子どもに向けての指示等、通常の学級内での な指導ととらえます。3rdステージでは、1stステージ、2ndステージの指導を行ってもなお、伸びが乏しい子どもに対し、より個に特化した集中的な指導を実施します。、集中的に柔軟な形態での特化した指導を目指します。指導の場としては、通常の学級内にとどまらず、 等での指導も考えられます。

通常の学級における多層指導モデル
(Multilayer Instruction Model:MIM)



引用文献

「通常の学級における学習につまずきのある子どもへの多層指導モデル（MIM）開発に関する研究」海津他【2008】

- | | |
|------------|-----------|
| a つまずいた時 | b つまずく前 |
| c 興味がもてない時 | d 集中できない時 |

- | | |
|--------------|------------------|
| a 全ての子ども | b 特異な才能のある子ども |
| c つまずきのある子ども | d 特別な配慮を必要とする子ども |

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| a 発展的 | b 総合的 | c 横断的 | d 補足的 |
|-------|-------|-------|-------|

- | | |
|----------|-------------|
| a 居住地校交流 | b 通級指導教室 |
| c 適応指導教室 | d 交流および共同学習 |

